

第十七回フオト旬会優秀作品(24年3月12日)

<自由題>



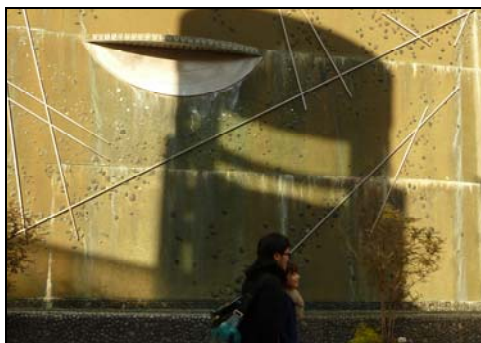
春を待ち
新芽遺して
朽ち果てり 大越浩平

メルヘンを
重ねあわせて
春の夢 三春



音たてて
巨象のごとく
春が来る 矢澤正二

あと何回
この豪雪に
耐えうるや 大月和彦



春近し
連れ立つ二人に
壁笑う 濱田優

自由題寸評：

大越さん：老作者がペースのある春らしい素材を捉えました。

三春さん：ブロックに描いた天真爛漫の絵、着眼点がいいですね。

矢澤さん：確かに象の足にみえます。春の足音との関連が好ましい

大月さん：豪雪地帯、最下層の雪は辛そうですね。

濱田さん：壁上の大きな影は何となく不気味です。「壁が笑う」など、作者のいつもの通りの解説が必要ですが。

<句 付 け>

3月のお題写真



プロの手で我が家の窓も掃除して

上山 裕次

竜宮の乙姫さんへの手紙です

池田 隆

頭が高いこの紋所見えないか

平尾 富男

竜宮城飲めや歌えのパスポート

矢澤 正二

<寸 評>

今月のお題写真は沖縄の美ら海水族館です。(平尾さん出題)

上山さん：どの家にもある汚れた窓、自分では掃除しようとしな
い悪しき風潮。

池田さん：最近の若者は竜宮の乙姫さんといってもわからないと
思います。キャバクラのホステスのことかと。

平尾さん：これまた古い！ご老体！

矢澤さん：竜宮城へゆくにもパスポートが必要とは。確かに
マカオやシンガポールにはカジノ付きの竜宮城が
存在しますが。

潜水とか魚といえば竜宮城を想起するのは無理ないと思いき
ますが、もう少し柔軟な発想をするように脳を鍛えて下さい。ボケ
防止には「壁が笑う」くらいの発想の転換が必要です。